

後援会 会報

第18期 2025.10
里山学院後援会

里山学院



理事長就任あいさつ 社会福祉法人 里山学院 理事長 鍵山雅夫

理事長就任につき、一言ご挨拶を申し上げます。多様化・複雑化する児童問題を解決する施設整備に、多くの資金と支援していただく方々が必要になり、この後援会を立ち上げさせていただきました。おかげさまで順次実現し、ここにお礼を申し上げるとともに、今後も安東前理事長と同様、ご支援をよろしくお願いいたします。

「里山学院への支援を続けて想うこと」

影重自治会 会長 山下 浩志

「里山さん」から今回の寄稿依頼を頂戴し、『里山さんについてかぁ〜』と考えながら、ふと『里山さんの正式名称を知らない』ことに気が付きました。当地区では里山学院の呼称は「里山さん」です。そんな「里山さん」のイベントに呼んで頂くと、子供たちの笑顔に元気を頂き、地区の夏祭りには子ども神輿の引手として参加して頂いています。

職員の皆さんも神社や公園の定期清掃に地域住民として参加して頂いております。そうです。題名にある支援、実は支援を頂いているのは、私ども地区の方なのです。ですから、地区がお手伝いできることは何でもご相談下さい。この地で子ども達が健やかに育つよう協力していきましょう。引き続きよろしくお願いいたします。

じょうずでしょう！



仲良しだね！



「里山学院のお子さんと出会って」

河芸こども園 加瀬 美佳

里山学院のお子さんと初めて出会ってから7年が経ちました。どの子も忘れられない思い出がいっぱいです。笑ったり泣いたり怒ったりと、毎日全力で気持ちをぶつけあってきました。全身で自分の想いを真っすぐ伝えてきたり、素直に伝えられなかったり、逆になかなか出せなかったり……。いつもその子に寄り添い、受け止め、手をつないだり抱きしめたりして、子ども達が安心して心を開ける人になりたいと思ってきました。将来の夢を楽しそうに語るお子さんがいました。様々な出来事があると思いますが、人との繋がりを大切に、目標をもったり明るい未来を思い描いたりする、そんな心持ちでこの先を歩んでほしいと思います。これからも一人一人のお子さんの思いや育ちを、大切に丁寧に支えていきたいと思っています。

「後援会員としての私は」

里山学院後援会 会員 村主 堯春

ご縁あって里山学院の後援会に入会してもう何年になるんだろうか。毎年会費を支払う。その他は……。後援会の会報が届く。里山祭のお手伝いをしたかな。里山学院は後援会員に何を求めているのかな？里山学院が私に求めていることに私は応えられているのかな？ 職員の皆さんは後援会、後援会員をどうとらえているのかな？

他の児童養護施設には後援会はあるのかな。どんな組織でどんな活動をしているのかな。わからない。でも、後援会員は続いている。自分の何かが役に立てば……。

「子どもたちとの遊びを通して」

鈴鹿医療科学大学 三井 駒美

里山学院さんとは、大学のボランティアがきっかけで関わるようになりました。私は子どもと接する経験が少なかったで、最初はとても緊張しましたが、子どもたちは私を輪の中に入れてくれて、遊びの世界に連れて行ってくれました。特に印象に残っているのは、鬼ごっこです。私が鬼のときは、巧みに逃げ回る子どもたちをなかなか捕まえることができません、つい熱中するとともに、子どもの戦略やパワーに驚きました。私が逃げる側のときは、いい隠れ場所を教えてくれたり、逃げる練習をしてくれたりと、仲間として受け入れてくれて嬉しく感じました。様々な遊びを通して、子どもたちの明るさや笑顔に元気をもらいました。子どもたちと一緒に、私も成長させてもらっています。これからも、子どもたちの笑顔が続きますように。

「子どもたちとのかけがえのない時間」

鈴鹿医療科学大学 大野 更紗

私は大学の先生から紹介していただいたことをきっかけに、月に1度ほど、施設でのボランティアに参加しています。子どもたちと遊ぶ中で、特に心に残ったことは、子どもが、初めて出会った時のことや、次に再会した時のこと、一緒に遊んだ場所、折り紙をした時間など、その一つひとつを、本当に丁寧に鮮明に覚えていてくれたことでした。それを知った時、「この子の記憶の中に、私という存在があるんだ」と胸が締め付けられる思いがして、私自身もその記憶を大切にしたいと改めて感じました。子どもたちに、「気にかけている大人がいる」「見守っている人がいる」と感じてもらえるような関わりができたらと思っています。これからもボランティアとして、子どもたちの健やかな成長に、ほんの少しでもお力になれば嬉しいです。



～後援会より～

学院の運営財源は、国や県からの措置費、皆様からの寄付金などで賄っていますが、子どもたちの教育活動や建物・設備品の維持管理などの財源確保に毎年苦慮しているのが現状です。

学院近隣の方々やボランティアの方々の有志により「里山学院後援会」が平成21年3月に発足いたしました。

子どもたちに対する物心両面からの支援と学院のさらなる向上に期待し、努力していただいております。

社会福祉法人 里山学院では、子どもたちに物心両面での援助をしてくださる方を募集しております。ボランティア・施設見学は右記まで。

【里山学院後援会ご加入方法】

会費は、年額 1口 個人2,000円 企業・団体5,000円

郵便振替口座にお振込みいただきますようお願い致します。

【口座番号 00890-1-206505 口座名義 里山学院後援会】

【寄付金振込先】郵便振替口座

【口座番号 00810-4-174289 口座名義 社会福祉法人 里山学院】

里山学院

〒510-0307 三重県津市河芸町影重1162

TEL (059) 245-0116

FAX (059) 245-6020

E-mail: kawageyogo@satoyamagakuinn.or.jp

鈴鹿里山学院

〒513-0056 三重県鈴鹿市上箕田1丁目6-2

TEL (059) 381-6021

FAX (059) 381-6020

E-mail: suzukayogo@satoyamagakuinn.or.jp

乳児院

〒510-0307 三重県津市河芸町影重1162

TEL (059) 253-3780

E-mail: nadeshikobaby@satoyamagakuinn.or.jp

児童家庭支援センターみだ

〒513-0056 三重県鈴鹿市上箕田1丁目6-3

TEL (059) 373-6025

E-mail: jikasen-mida@satoyamagakuinn.or.jp





鈴鹿里山学院



「里山学院への思い」

上箕田自治会長 田中 貞朗

今年の2月に上箕田自治会長に就任しましたが、これまで里山学院様の活動についてはあまり承知しておりませんでした。今回、里山学院様から寄稿のご依頼をいただくにあたり過去の会報を読ませていただきましたところ、多くの支援者の方々や職員の皆様方のご尽力により、立派にその役割を果たしておられることがわかりました。

少子化が進み、地域の絆も希薄になりつつある中、里山学院様のような施設の役割は今後益々重要になっていくように思います。実際には会報には載せることのできないような様々なご苦労も有ろうかと思いますが、これからもしっかりと役割を果たしていただけたらと思います。また、自治会として、地域コミュニティ活動などで連携していけたらいいなと思っておりますので、よろしくお願いします。

ハッピー ハロウィン!



みんなでお祝いしましょう!



ボランティア活動を通じて

鈴鹿医療科学大学 4年生

大学からの呼びかけで、ボランティアに参加させていただくことになりました。当初は、子どもたちとどう接すればよいかわからないと不安がありました。ですが、実際に参加してみると、施設の温かく穏やかな雰囲気の中で、自然と子どもたちと遊んだり、お誕生日会にも参加させていただいたり、様々な体験をさせていただきました。回を重ねるごとに子どもたちの成長を感じられ、これは職員の皆様方のご尽力の賜物だと実感しました。また、里山祭では地域の方々も多く参加されていて、地域とのつながりを大切にされていることが伝わってきました。微力ながら、今後も継続して関わらせていただければと思います。

サンタさんと一緒に、みんなにプレゼントを用意しました!



集中するぞ!



「里山学院の子ども達とのふれあいについて」

三井住友海上火災保険株式会社
三重支店 三重自動車営業課 横山 優二

今回寄稿させて頂くにあたって、先日、里山学院の子ども達と初めて出会った時の事を思い出してみました。印象に残っているのは「素直さ」と「感情の豊かさ」です。自分自身の幼少期はもう少しわがままで、大人との対話やコミュニケーションを大切に感じていなかったように思います。里山学院の子ども達は、たとえ相手が誰であろうと他人の言葉に耳を傾け、感情を共有しようとする無邪気な素直さがあると感じました。それは人と人にある壁を溶かし、なにか大切なものを思い出させてくれるような気がしました。最初は里山学院様の大切なおクルマを守る保険会社の人間としての関わりでしたが、今は三重の里山学院の子ども達の安心、安全を守る存在として役割があることに嬉しさを感じています。陰ながら支えていければと考えています。

ねらいをさだめて!



なにを、見つけたの?!



「先生たちとの対話による共育（教育）」

津市立朝陽中学校 教頭 小宮 康子

2009年に朝陽中学校へ着任してから転勤し、16年。里山学院の先生方とは、子どもたちの事について、小さなことから大きなことまで、いつでも、なんでもお話をさせていただいてきました。学校で見ている子どもの姿とは違う学院での様子をお聞きすることで「私は子どものことを見ているつもりが、わかっていなかった」と反省することが度々でした。学院の先生方と連携させていただいた事は「共育」であったとは思っています。私の担任・顧問としての連携は十分ではなく、まだまだできたことはたくさんあったかと思いますが、子どもたちを共に育て、助けていただきました。今年、学年担当教員が学院の先生方とお話させていただく場を設けたことは、大変有意義なことでした。今後とも対話による連携に努めてまいりますので、よろしくお願いします。

なにを、お願いしたのかな?



カルタ遊び、楽しいね!



里山学院乳児院

「ごあいさつ」

里山学院乳児院 院長 矢田 智子

泣いたり、笑ったり、時には怒ったり・・・こどもたちの表情はくるくる変わります。里山に来てよかったと思っていたように、職員とともに日々頑張っています。これからも、地域の方々に見守っていただきながら、こどもたちが幸せになることを願い、こどもとともに成長できたらと思っています。どうぞよろしくお願いいたします。

こいのぼり、のりたいたあ～！

赤いのみつけた～

ハロウィン
カレーだよ
おいしそう～

仲 律子

「子どもたちの笑顔へ」

2011年から鈴鹿国際大学のゼミ生とともに募金を集め、子どもたちにお菓子のクリスマスプレゼントを贈り始めてから14年が経ちました。2018年までは学生たちが直接子どもたちにプレゼントを手渡し、一緒に遊んだりしていました。学生と遊ぶ子どもたちの笑顔が眩しかったことを今でも覚えています。2019年に大学教授を辞めてからは、有志とともに現在まで続けています。子どもたちから毎年届くお礼状が励みになっているのかもしれない。クリスマスは子どもたちにとって特別な日です。幸せであれという思いが詰まったプレゼントを受け取ることで、自分たちは大切にされる存在であることを感じてもらえたらと思い、この活動を続けてきました。子どもたちの笑顔はこの世の光です。その笑顔と繋がることのできるこの活動に感謝し、今後も続けていきたいと思っています。

第17期 里山学院後援会会計収支決算書

自 令和6年4月 1日
至 令和7年3月31日

第17期 里山学院後援会会計収支決算書

収 入 の 部						支 出 の 部					
科 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)	備 考		科 目	予算額(A)	決算額(B)	差異(A)-(B)	備 考	
会費	240,000	269,200	△ 29,200	個人	40名 117口	234,200	会議費	5,000	4,919	81	役員会茶菓子代
				企業・団体	5団体 7口	35,000	事業運営費	20,000	0	20,000	里山祭ブース無し
雑収入	20,000	48,400	△ 28,400	募金箱		48,400	消耗品費	5,000	745	4,255	封筒代
繰越金	1,193	1,193	0				手数料	7,000	5,500	1,500	募金箱入金・残高証明
							謝礼	9,000	10,000	△ 1,000	会報執筆謝礼
							通信運搬費	16,000	24,514	△ 8,514	切手・封筒送料
							印刷製本費	78,000	75,130	2,870	会報印刷代・宛名印刷代
							備品購入費	0	0	0	
							賃貸料	65,000	62,040	2,960	AED年間賃貸料
							寄付金等積立金	30,000	130,000	△ 100,000	公用車購入予定
							予備費	26,193	5,945	20,248	令和6年度繰越金
合 計	261,193	318,793	△ 57,600				合 計	261,193	318,793	△ 57,600	

寄付金等積立金：17期108万円(16期95万円)

会計監査報告

第17期の会計監査報告をしたところ、決算は適正であることを認め、ここに報告します。

令和7年 5 月 22 日

里山学院後援会 会計監査

新 光子 (新)
会計監査 若 崎 悦子 蔵

第18期 里山学院後援会会計収支予算書

自 令和7年4月1日
至 令和8年3月31日

第18期 里山学院後援会収支予算書(案)

収 入 の 部						支 出 の 部					
科目	第17期 予 算	第18期 予 算	差 異	備 考		科 目	第17期 予 算	第18期 予 算	差 異	備 考	
会 費	240,000	250,000	△ 10,000	個人	40口	220,000	会議費	5,000	5,000	0	役員会・実行委員会
				企業・団体	5団体	30,000円	事業運営費	20,000	20,000	0	里山祭出し物
雑収入	20,000	40,000	△ 20,000	募金箱		40,000円	消耗品費	5,000	1,000	4,000	封筒・用紙・インク代
繰越金	1,193	1,193	0				手数料	7,000	6,000	1,000	募金箱入金・残高証明
						謝礼	9,000	10,000	△ 1,000	会報執筆謝礼	
						通信運搬費	16,000	25,000	△ 9,000	切手・封筒送料	
						印刷製本費	78,000	76,000	2,000	会報印刷代	
						備品購入費	0	0	0		
						賃貸料	65,000	65,000	0	A E D年間賃貸料	
						寄付金等積立金	30,000	50,000	△ 20,000	公用車購入資金積立	
						予備費	26,193	33,193	△ 7,000		
合 計	261,193	291,193	△ 30,000			合 計	261,193	291,193	△ 30,000		

寄付金等積立金：17期 108万円